

ラストワンマイル・パートナーズ 新サービス提供

### ドラ不足の参入障壁下げる

軽貨物業界では宅配のドライバー不足が問題となっており。ドライバー職に興味を持つ人はいるものの、車の調達が参入障壁の一つとなっている。この参入障壁を下げるため、新たなサービスが提供される。

軽貨物車両の販売やリース、軽貨物運送事業などを行っているラストワンマイル・パートナーズ(菊池正寛社長、東京都中央区)は2月から、関東エリアを対象に、軽バンの「3か月リース」の提供を開始する。

中、法人契約で使用できるようなした者名義の変更も可能となっている。

「3か月リース」

担当責任者の堤口裕介氏は「誰でも気軽に軽貨物ドライバーの仕事を試せる機会を創出するため、独自の予審システムを採用することで、より多くの人にリース



堤口氏

できるようなしたという。

「法人に関して言うと、契約者は法人

で、法人名義だと使えないが、当社では車両の名義、使用者名義はドライバーというスキームが組めるので、法人はリース料金を無駄に支払うリスクを減らすことができ

る」  
だが、一般的にリース会社では、契約者と使用者の

名義の人が違うと管理が大変になるため、そうしたスキームを組まないが、同社では軽貨物をやる人向けにリース商品

を設計しているのが可能となっている。堤口氏は「まず、1日から1年は、関東エリアを対象に『3か月リース』を提供して様子を見てから、目標としては2年以内をめどに、全国へサービスの展開を行っていきたい」と話している。  
(三村秀寿)